

## 地銀はいま何時？

## 若手・中堅の認識は、午後遅め～深夜

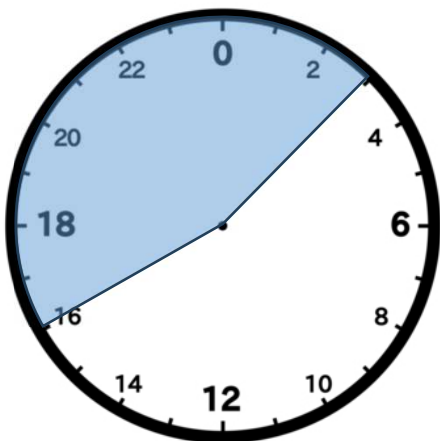
「いま、地銀業界を“1日”にたとえたとしたら、何時頃だと思いますか？」

プロジェクトや研修で出会った、複数の地銀の20代～30代の若手・中堅行員に、こんな質問をしました。これから明るくなる日の出頃？もっとも明るい昼前後？だんだん暗くなる夕方？それとも真っ暗な真夜中？

回答で多かったのは、午後の遅めの時間帯～深夜2時・3時頃でした。つまり「これからどんどん暗くなる」「いま真っ暗」「当面、明るくはならない」といったニュアンスです。

一方で、これから明るくなる「早朝～午前中」と答えた人は、ごくごく僅かでした。

こうした“時間感覚”に、今の地銀業界の空気感が凝縮されているように思います。



## “時間感覚”

数年前から、多くの地銀で若手・中堅層の離職が問題視されています（他業種でも同様の傾向はありますが）。もちろん、待遇やキャリア形成、働きがいなど様々な要因があります。

そうしたなか私が気にしているのは、先の質問にあるような“時間感覚”です。

社会人人生がまだまだ長い若手・中堅が「これから暗くなる」「暗さは続く」と感じていたら、その仕事に希望を持ち続けるのは難しいでしょう。頑張った先にあってほしい「光」が見えなければ、目の前の業務は消耗にしかなりません。前向きなエネルギーも湧きづらくなります。

離職は、個人の判断であると同時に、組織や業界全体の未来を映し出す鏡でもあります。「この先も暗さが続く」と思えば、人はそこから離れることを選びます。

だからこそ、「いま何時だと思うか」は、重要な問なのです。

## 自然体でいればネガティブに

もちろん、若手・中堅行員の物事の捉え方に問題がある、という話ではありません。

銀行の中では、「地方銀行を取り巻く環境は依然として厳しく」「県内経済は未だ回復基調とは言えず」など、厳しさや大変さを表す定型句に溢れたなかで仕事をしています。

外部から入ってくる情報も、地銀関連の記事は「危ないランキング」「淘汰の波」など、ネガティブな視点から語られるものが目立ちます。

すなわち、自然体で行内外の情報に触れているだけで、将来を暗く感じるのは無理もない環境に置かれているわけです。

## 私の認識は、夜明け前後

ここで、もう一つ質問です。

皆さん自身は、地銀業界をいま何時だと思っ  
ていますか？

ちなみに私は、早朝4時～5時頃、すなわち夜明  
け前後の頃だと思っています。一日でもっとも暗  
い時間帯を乗り越え、ようやくこれから明るくな  
ってくる、そんな動き出す準備が整い始める時間  
帯に地銀業界はいるのではないのでしょうか。

実際、多くの規制緩和が進み、以前と比べると  
できることは格段に増えました。出資基準も緩和  
され、非金融領域の取組みも推奨されています。  
外部プレイヤーとの連携も進み、やりたいことは  
ほぼできる下地が作られました。チャレンジが許  
容される、いよいよ面白い時代になってきたと言  
えるでしょう。

いまこの時は、後から振り返って「変化の始ま  
りに立ち会えた」と言える、貴重な時間になるの  
ではとも思っています。

## “時間感覚”のギャップ解消を

ところで、こうした“時間感覚”は、私だけで  
しょうか。そんなことはないと思っています。

地銀の経営陣や管理職の皆さん、そして社外に  
アンテナを張り巡らせている方々とは、“時間感  
覚”が似てるのではないのでしょうか。

もしそうならば、“時間感覚”の認識ギャップは  
とても勿体ないことです。この先、明るくなるこ  
とを知らぬまま、若手・中堅は日々のルーティン  
に埋もれ、「この業界はまだ暗そうだ」という思  
い込みに侵されてしまっているわけですから。

だからこそ、皆さんの“時間感覚”を言葉にして、  
若手・中堅に伝え続けてほしいと思います。

「地銀は、ようやくこれから面白くなってくる」

「君たちの出番はこれからだ」

「ルールが変わる今こそ、若い発想が必要だ」

「みんなで挑戦していこう」

そんなひと言を、自然体で浴びる「厳しい」

「大変」を上回る量で語り続けることで、若手の  
“時間感覚”は夜中の暗い時から、皆さんと同じ、  
先行きの明るい時間帯へと変わっていきます。

夜明けの時間。まだ少し肌寒いかもしれませんが、  
確実に光が差し始めています。若手・中堅を  
含め、多くの行員がそんな“時間感覚”を持つ地域  
金融機関は、活力に溢れることでしょう。明るい  
朝は、すぐそこまでやってきています。

以上、高橋昌裕からのYELLでした。

### 弊社HPでもご覧いただけます

弊社ホームページでは、Vol.1からすべてのニュー  
スレターの閲覧・PDF版のダウンロードができます。

([https://braveyell.co.jp/news\\_letter](https://braveyell.co.jp/news_letter))

また、不定期発行のため「更新のお知らせ」をメー  
ルでお受け取りいただくことも可能です。ぜひ、ホーム  
ページよりご登録ください。

## 【発行・文責】

# BRAVEYELL株式会社

(ブレイブエール)

代表取締役 高橋 昌裕

〒104-0061 東京都中央区銀座6-6-1  
銀座風月堂ビル5階

takahashi@braveyell.co.jp

03 (6271) 9147

## 業務内容：

- ・経営コンサルティング
- ・エグゼクティブ・パートナー
- ・研修、ワークショップ、講演

## 代表者略歴：

- ・生命保険会社を経て、2002年 A.T. カーニーに入社
- ・2018年、独立してBRAVEYELLを設立  
– 2020/4～2025/3まで、金融庁の参与も務める
- ・著書「ザ・地銀」「ゴールベース法人取引」など

